

第2章

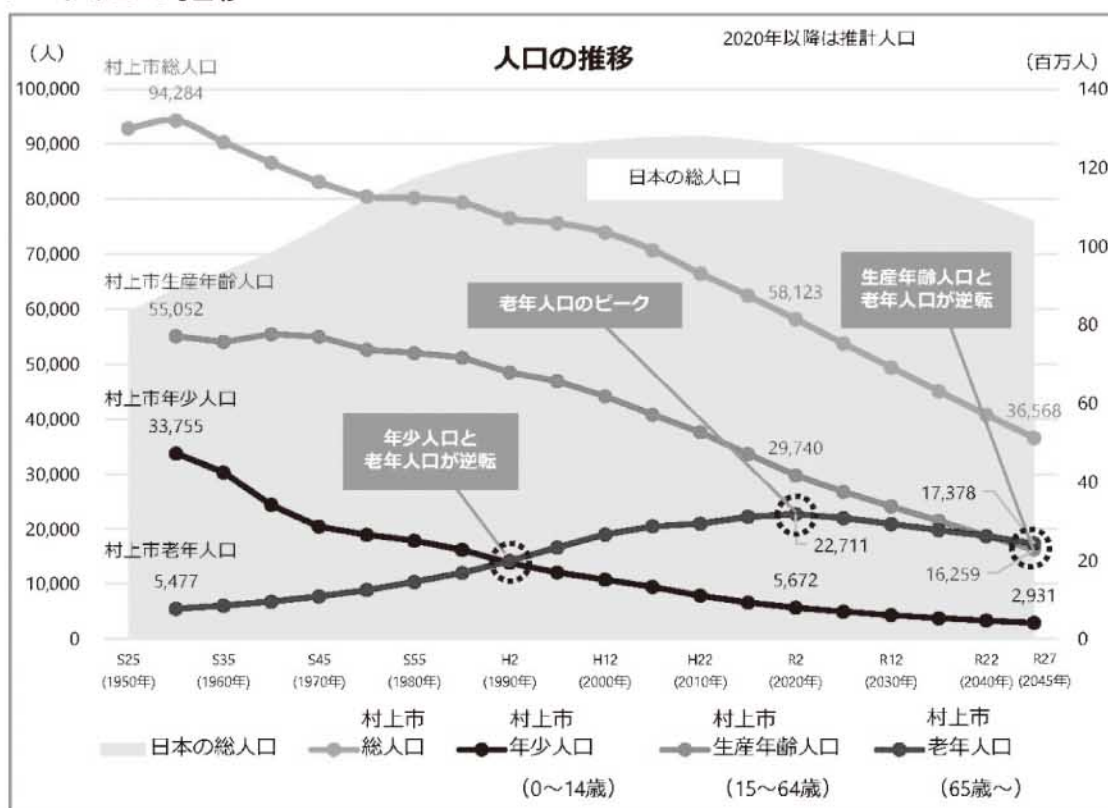
村上市の現状



放課後等デイサービス「青い鳥」子どもたちの作品

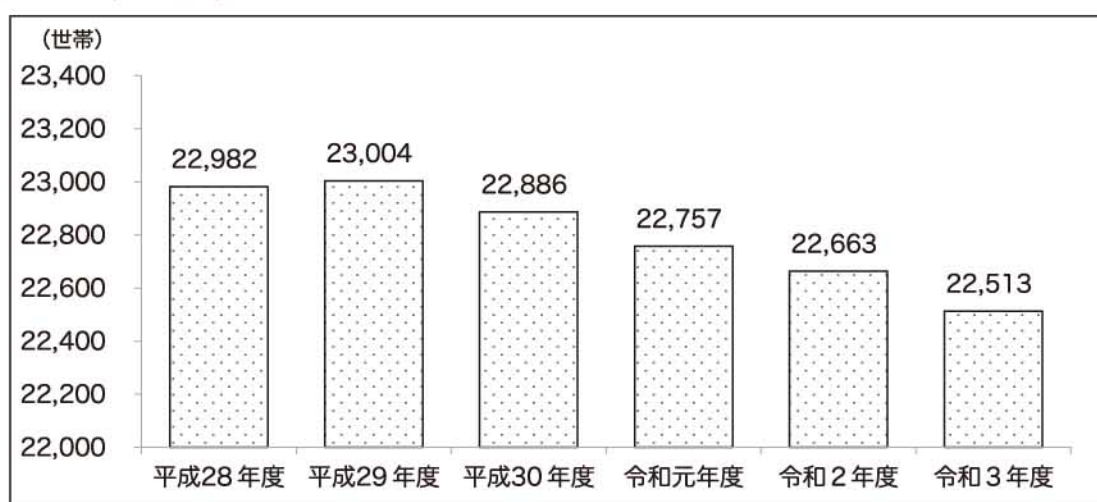
村上市の現状

1 人口の推移



■ 生産年齢人口の減少が 2000（平成 12）年を過ぎたところから急激に進んでいることがわかります。2045（令和 27）年には高齢人口と逆転することが予想され、生産年齢の方 1 人に対して高齢人口の方 1 人以上を支えていかなければならない状況に近い将来訪れることが考えられます。

2 世帯の推移

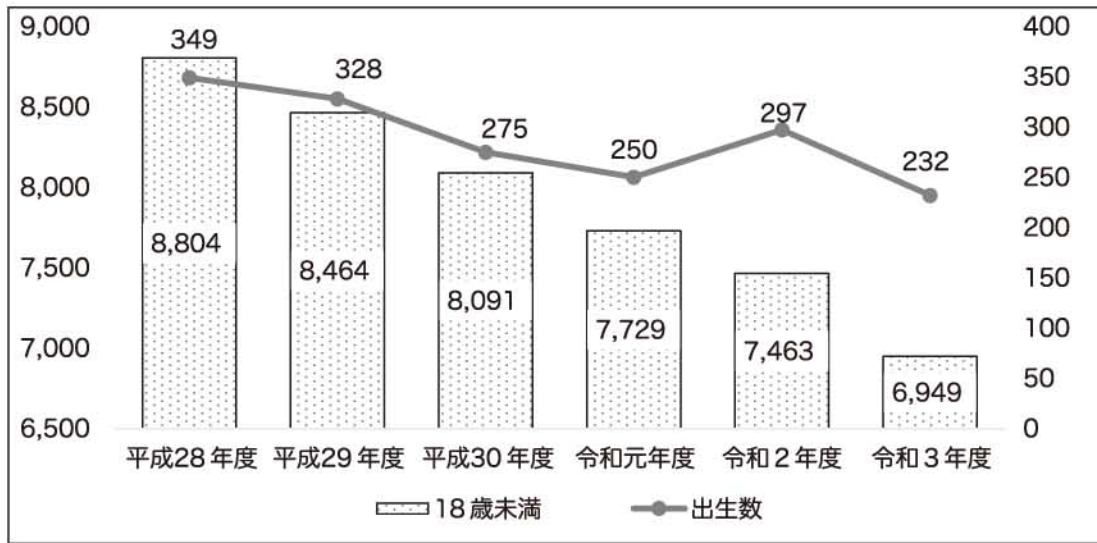


住民基本台帳 4月1日現在

■ 世帯数は人口の減少にともない、平成 29 年度をピークに緩やかな減少傾向となっています。

3 子どもの状況

出生数と18歳未満の人口の推移

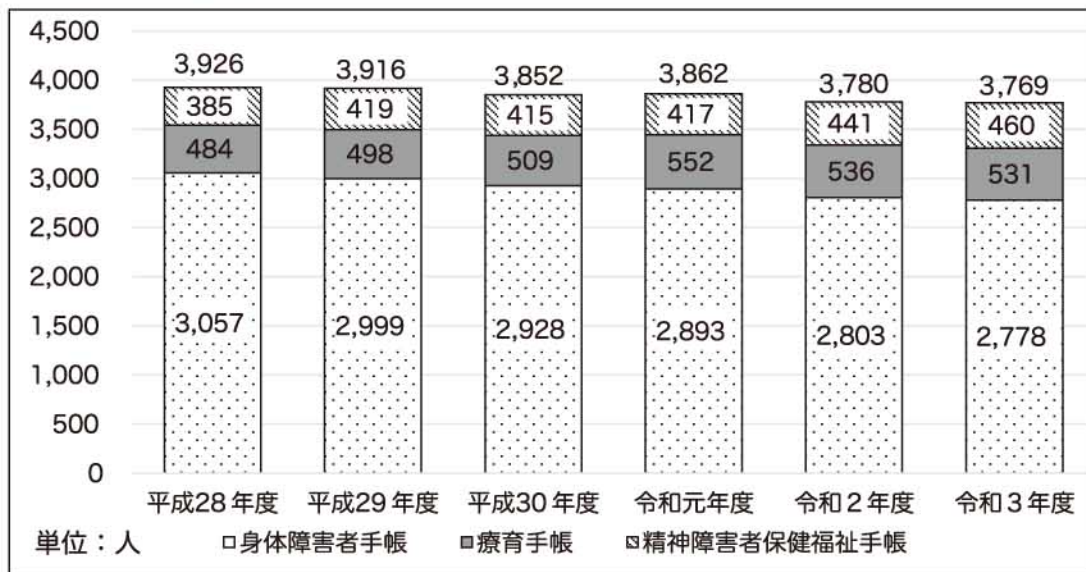


住民基本台帳 4月1日現在

■市の年間出生数は平成28年度～令和元年度にかけて100人ほど減少しましたが、令和2年は大きく増加傾向がみられました。また18歳未満の子どもの減少も進んでおり、加速する少子化で、今後の生産年齢人口への影響が考えられます。

4 障がい者の状況

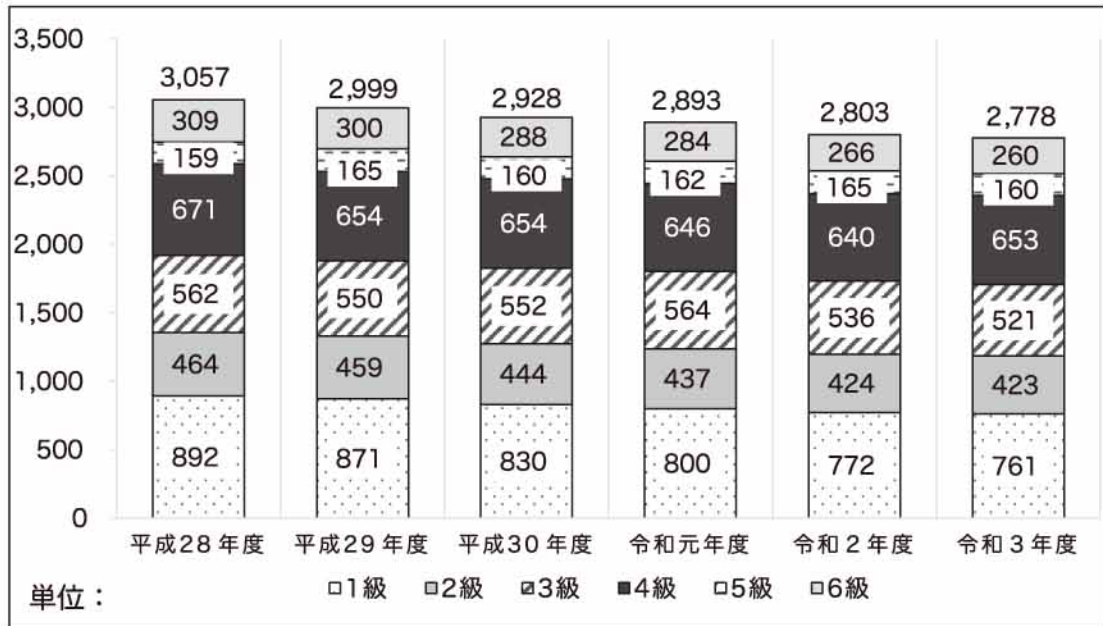
①障がい者の推移



各年度 4月1日現在

■身体障害者手帳所持者数が減少しているのに対して、精神障害者保健福祉手帳所持者数は年々増加傾向にあります。

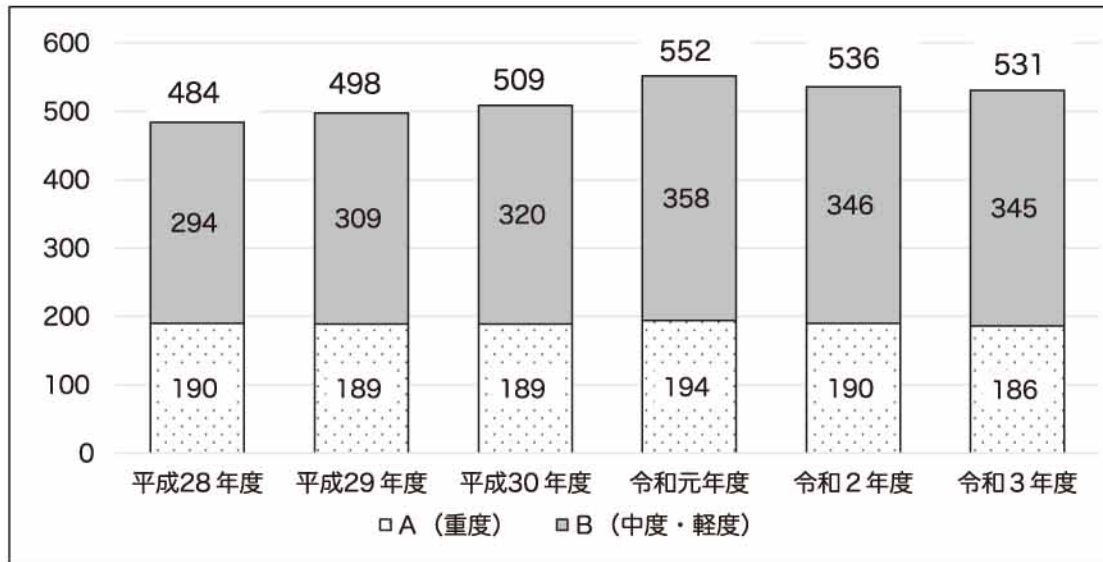
②身体障害者手帳交付者の推移



各年度 4月1日現在

■身体障害者手帳所持者の推移として、2～5級の中階級の等級の人数は大きな変化はありませんが、もっとも重度の1級と軽度の6級は年々減少傾向が見られます。

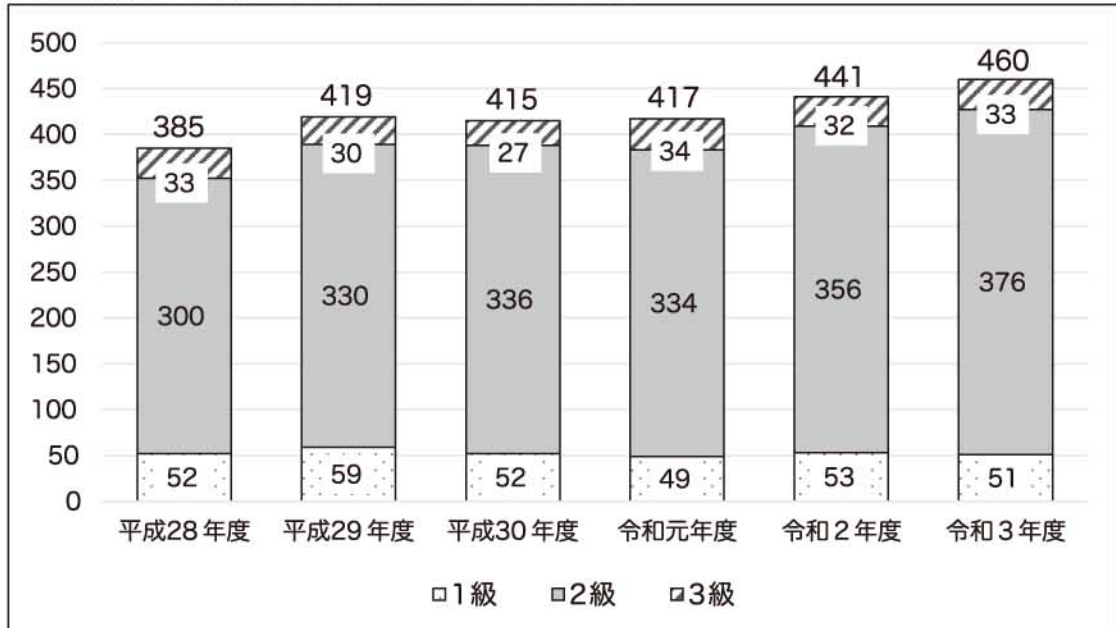
③療育手帳交付者の推移



各年度 4月1日現在

■療育手帳所持者の推移として、A (重度) の人数はほとんど増減がなく横ばいの傾向がありますが、B (中度・軽度) の人数は年度によって増減を繰り返しています。

④精神障害者保健福祉手帳交付者の推移

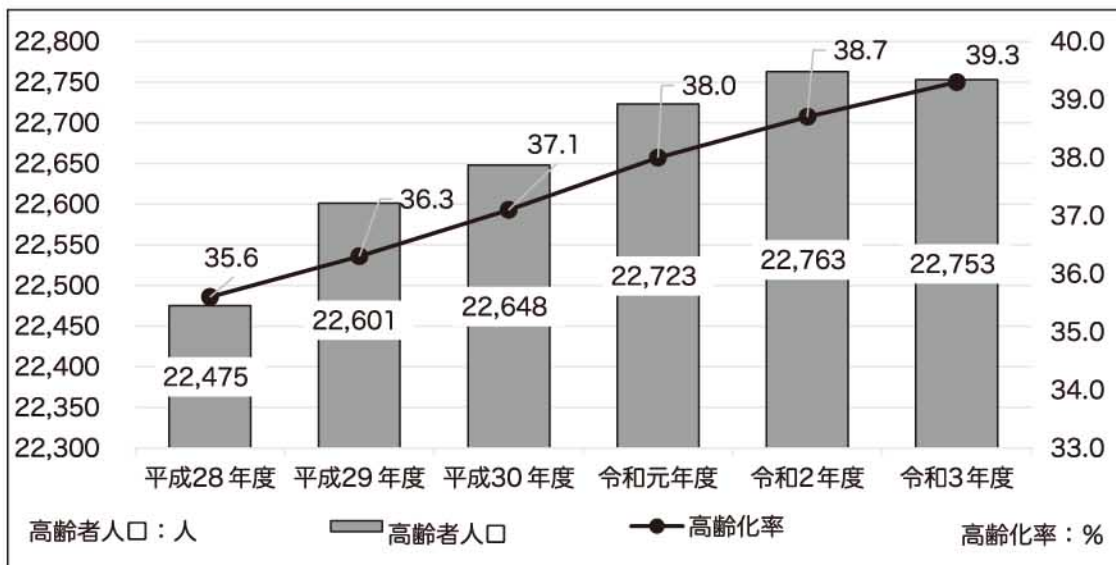


各年度 4月1日現在

■精神障害者保健福祉手帳所持者の推移として、重度の1級と軽度の3級の人数はほぼ横ばいの傾向となっていますが、2級の人数は増加傾向があり、全体としても増加しています。

5 高齢者の状況

①高齢者数、高齢化率の推移

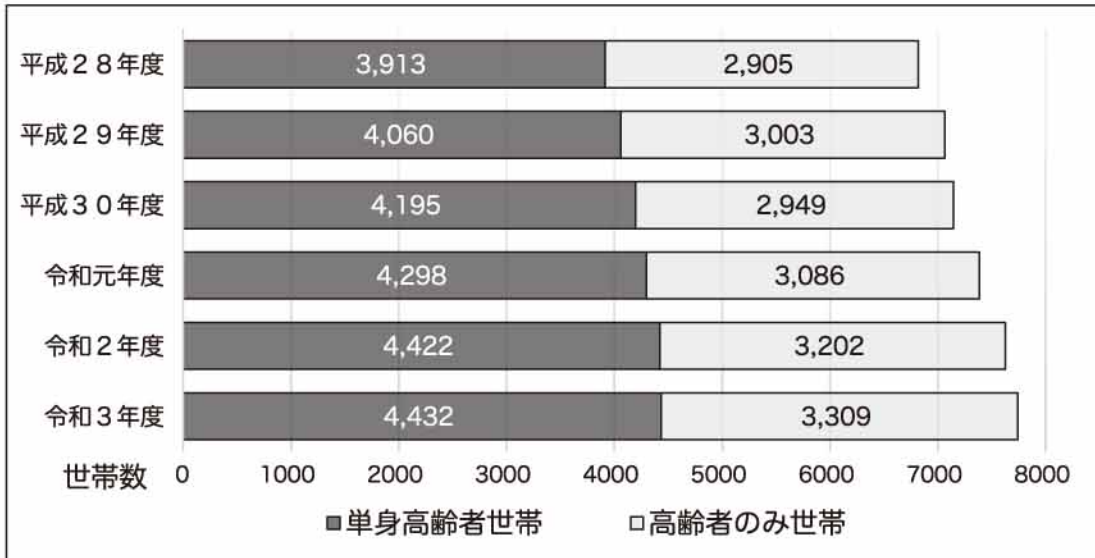


住民基本台帳 4月1日現在

■高齢化率は年に0.7~0.9%ずつ増加し、この数年のうちに村上市の高齢化率は40%を超えることが予想されます。

令和3年度にはじめて高齢者人口が減少しています。

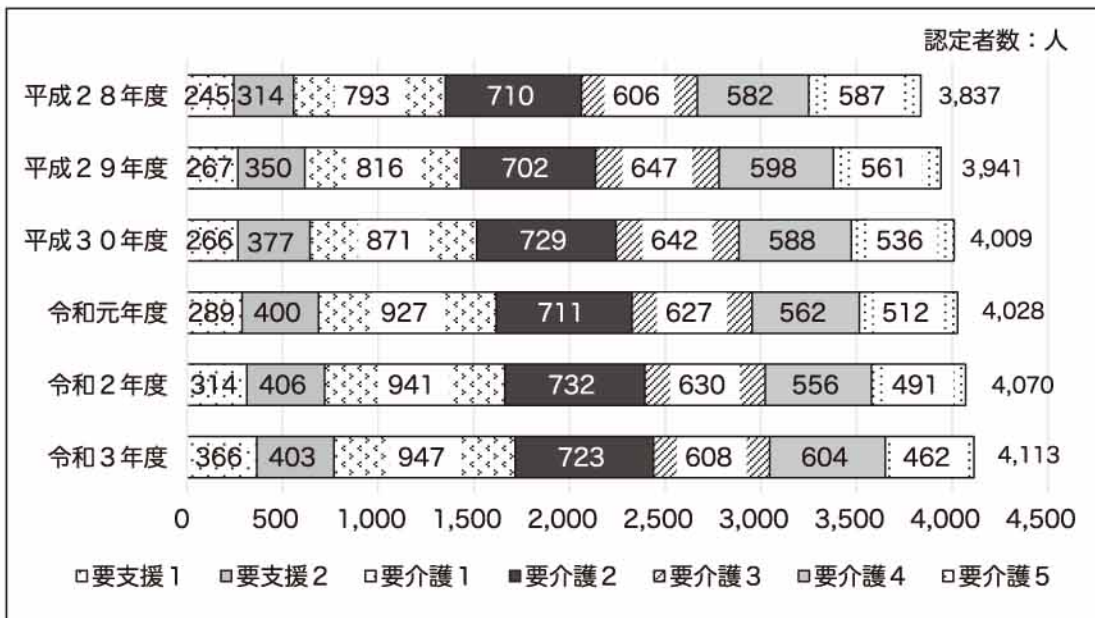
②65 歳以上の世帯の推移



住民基本台帳 4月1日現在

■高齢化率の上昇にともない、年々単身高齢者・高齢者のみ世帯の増加がみられます。特に単身高齢者世帯は平成28年度から500世帯ほど増加しています。

③要介護（要支援者）認定者数の推移



各年度 4月1日現在

■高齢者数の増加にともない、要介護（要支援者）認定者数が年々増加しています。要支援1～要介護1の軽度の区分の方は増加傾向があり、反対に要介護5の重度の区分の方は年々減少傾向となっています。

6 国民健康保険 疾病分類別（中分類）分析

①入院

単位：%

区分	1位		2位		3位		4位	
平成29年度	精神	20.5	新生物	19.1	循環器	13.7	筋骨格	9.2
平成30年度	新生物	19.0	精神	17.9	循環器	13.8	神経	11.3
平成31年度	新生物	17.7	精神	16.2	循環器	15.8	神経	11.7
令和2年度	新生物	17.1	精神	16.6	循環器	16.3	神経	10.6

精神…統合失調症・躁うつ病など、新生物…ガン、循環器…脳梗塞など、筋骨格…関節症など、神経…アルツハイマー病など

②外来

単位：%

区分	1位		2位		3位		4位	
平成29年度	循環器	16.7	内分泌	14.6	新生物	11.4	尿路性器	10.2
平成30年度	循環器	14.8	内分泌	14.7	新生物	12.6	尿路性器	10.9
平成31年度	内分泌	15.2	循環器	14.7	新生物	14.0	尿路性器	10.0
令和2年度	新生物	16.7	内分泌	14.7	循環器	14.6	尿路性器	9.6

循環器…高血圧・虚血性心疾患など、尿路性器…慢性腎不全など、内分泌…糖尿病・甲状腺障害など

(出典：KDB システム 医療費分析(2) 大、中、細小分類)

7 自殺者数・自殺死亡率の年次推移

